

# エテルカルセチドの長期的効果と骨粗鬆症治療薬併用についての検討

医療法人 心信会 池田バスキュラーアクセス透析内科 腎臓内科  
 ○梶本宗孝、松岡一江、安田 透、池田 潔



**【目的】**  
 エテルカルセチドを1年間継続し得た症例の検討を行い、骨粗鬆症治療薬、VitD製剤の併用状況、骨塩量の評価を行う。

**【方法】**  
 当院に通院中の血液透析患者で、エテルカルセチドを導入した39例を対象。39例中、12カ月投与し得た27例のP、Ca、intact PTHの推移を追跡し(3、6、12カ月)、リン吸着薬、VitD製剤の投与量の変化、骨粗鬆症治療薬の併用状況を調査項目とした。統計学的な検討はt検定を用いた。

**【患者背景】** 〈エテルカルセチド処方 39症例〉 平均年齢: 62.9±10.9 (歳)、男性: 女性 = 25:14、透析歴: 112±86.1(カ月)(8.9±7.2年)

